

平成26年度 教育の質向上支援プログラム(EEP)実績報告書

部局名	医学部保健学科		
申請者(部局長)	大 喜 雅 文		
採択タイプ	①タイプ1・タイプ2		
採択年度	平成26年度		
1. 取組の名称	教育力セルフマネジメントプログラムの構築		
	(副題)		
2. 取組のキーワード	教員, 教育力, セルフマネジメント, 教育プログラム		
3. 学部・学科 学府・専攻名	医学部保健学科		
4. 取組の概要	<p>質の高い医療人育成には、医療系教員ならびにTAを含めた次世代教員の教育力の向上が不可欠である。本取組は、医療人育成に関わる教員の教育力のスキルアップを促進するとともに、教育力の自己管理を目的として、オンラインによる教育力セルフマネジメントプログラムを構築する。</p> <p>本プログラムは、教育力を、1)準備・企画力、2)運営・実践力、3)評価力、4)改善力、5)統合力、という5領域から構成する。各領域に教育関連の設問・解説を作成し、各領域には九州大学の教育改革の推進効果を高めていくために、高い頻度で使用されているキーワードなども含む。これらをオンラインによるプログラムとして整備し、設問・解説・評価によるセルフマネジメントを通して、教育活動に関する知識・技術の強化と拡充を図る。オンラインによる本プログラムを医療人育成に関わる教員に発信する。</p>		
5. 取組実施担当者			
ふりがな 氏名	担当学府・学部・職名	現在の専門	役割分担
おおいけ みやこ 大池 美也子	医学研究院・保健学部門・教授	看護学	代表者・全体企画
すぎしま せつお 杉島 節夫	医学研究院・保健学部門・教授	検査技術科学	プログラム構成検討
ささき まさゆき 佐々木 雅之	医学研究院・保健学部門・教授	診療放射線技術科学	プログラム構成検討
はらだ ひろこ 原田 博子	医学研究院・保健学部門・准教授	看護学	プログラム構成検討
てらおか さわ 寺岡 佐和	医学研究院・保健学部門・講師	看護学	設問・解説の作成
かつた ひとし 勝田 仁	医学研究院・保健学部門・講師	検査技術科学	設問・解説の作成
ふじふち としおう 藤淵 俊王	医学研究院・保健学部門・講師	診療放射線技術科学	設問・解説の作成

6. 経費措置額 (単位:千円)	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (請求予定額)	平成28年度	合計
	取組規模		1,500	3,000	0	0
内 訳	経費措置額	1,000	2,000	0	0	3,000
	部局負担額	500	1,000	0	0	1,500

※1 平成25年度にタイプ2で採択された取組は平成25年度～平成27年度の頁を記入

※2 平成26年度にタイプ2で採択された取組は平成26年度～平成28年度の頁を記入

7. 取組の内容等(取組計画書の「取組の内容等」を転記のこと)

- 1)本プログラムは、教育力を教員の教育活動に関連した内容として、(1)準備・企画力、(2)運営・実践力、(3)評価力、(4)改善力、(5)統合力、という5領域から構成する。
- 2)上記の各領域に教育関連の設問・解説を作成する。
- (1)設問・解説の作成に当たっては、National League for Nursingによる Certified Nurse Educatorなどを参考とし、また、九州大学教育改革に関わる用語なども含める。
- (2)新人教員やTAを含む次世代教員を含めた基礎編、応用編とした設問・解説を作成する。
- 3)設問・解説によるセルフマネジメントとして、オンラインによるプログラムを開発する。
- 保健学科は、これまで情報技術を活用した教育に取り組んできており、本プログラム開発では、これまでの知見を活用しながら進める。
- (1)セルフマネジメントとして貢献できるように、設問の点数化を行い教育力の程度を理解するとともに、解説には教育活動の基盤となる情報を加え、教育力のレベルアップを図る。
- 4)オンラインによる本プログラムを、医療人育成に関わる教員に発信する。
- (1)活用状況としてのアクセス件数や点数評価などを本プログラムの評価として発信する。

8. 平成26年度の実施計画と実施状況及び達成状況 (実施計画と達成状況の対応関係がわかるように記載すること。)

平成26年度実施計画 (取組計画書の「各年度の実施計画」から平成26年度分を転記のこと。)	達成状況
平成26年度 1)5領域に関する教育関連の設問・解説・評価を作成する。(設問・解説の作成は、医療系教育に関する書籍、National League for NursingによるCertified Nurse Educator、などを参考とする) 2) 設問・解説によるセルフマネジメントとして、オンラインによるプログラムを開発する。	1) 下記のアドレスにホームページを開設し、本プログラムとリンクした。 (http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/EEP/) 2) 九州大学Web学習システムのなかに本プログラムを構築した。準備編、実践編、評価編の概要と設問20題を設定した。「解説」の箇所は、各領域の説明内容になるため、「概要」として表現することとした。改善編と統合編は、4月上旬に掲載予定としている。 3) 本プログラムについて、日本看護学教育学会第25回学術集会(徳島)の交流集会にて、発表の申請をした(タイトル:医療人育成に関わる教育者のための教育力セルフマネジメントプログラムの構築に向けた取り組み)

9. 付加条件と対応状況	
<p>【付加条件】(採択結果通知や3年間の事業で中間評価時に記載された付加条件を転記のこと。付加条件を付されていない場合は「該当なし」と記載のこと。)</p> <p>該当なし</p>	<p>【対応状況】</p>
10. 取組に係る具体的な成果 (教員の意識向上等取組の波及効果等)	
<p>平成26年度は、プログラムの開発に焦点をおいているため、取組実施担当者や大学院生らと検討を進め、本プログラムの5領域に関する設問・解説を作成した。</p> <p>本取組の具体的な成果は、取組計画書においても平成27年度に実施としており、本プログラムの成果を明らかにする予定である。</p>	

11. 平成26年度までの達成状況を踏まえ平成27年度において改善する事項及び推進する事項

平成27年度

- 1) 医療人育成に関わる学内の教員・TAに発信しアクセスを募る。
- 2) 学外の医療人養成に関わる教員・TAに発信しアクセスを募る。
医療人育成に関する研修会などを活用し、本プログラムの情報提供によって募っていく。
- 3) オンラインによるプログラムの充実を図るため、アクセス者の解答結果やアンケート結果をプログラム内容反映させ、その整備や改善を進める。
- 4) アクセス件数やセルフマネジメントの結果から、本プログラムを評価する。

12. 他部局あるいは全学の取組として利用できる点

平成27年度

本プログラムは、医療人育成に関わる教員の教育力の習得を目指しているが、大学教員として備えておく知識や技術も含めている。

本プログラムの活用が明確になれば、他部局あるいは全学における教員のFDとしても利用できる可能性がある。特に、九州大学Web学習システムによって構築されているため、学生、TA、新人教員などに教育について学習をしたい時に学ぶことができ、幅広く活用できる。